

# 第10回安中市行政改革審議会会議録（概要）

【日 時】平成20年 2月19日（火）午前9時30分～12時00分

【場 所】市役所委員会室

【出席委員】9名

【欠席委員】6名

【事務局】4名（総務部長、企画課長、行政管理係長、担当職員1名）

## 【配付資料】

会議次第

- 1 行政改革大綱（たたき台）
- 2 前回会議会議録
- 3 行政改革推進会議 会議要旨

## 【概 要】

1 開 会 司会進行：部長

2 挨拶 会長

配布資料確認：事務局

3 協議事項 議長：会長

(1) 行政改革大綱について

説明：事務局（資料1、第8回会議資料1）

目次

- ・委員の意見を参考に「Ⅱ 行政改革推進項目」の1～3を修正

I 策定の背景

はじめに

- ・策定方針の内容を整理
- ・庁内会議の意見により、総合計画に合わせて「高度化・多様化」に統一

1 地方分権の進展

- ・庁内会議の意見により、市町村と住民の間の線を削除

2 少子高齢化などの社会変化

- ・わかりやすい表現に修正
- ・出典の表現を統一
- ・少子高齢化のグラフを追加

3 厳しい財政状況

- ・庁内会議の意見により、歳入・歳出に関する説明を修正。「市への歳入」の「市への」という表現は必要かどうか
- ・前回会議の担当職員との意見交換を参考に、市の現状の説明を追加
- ・図-3「財政状況の見通し」のグラフについて、項目をまとめたものに変更

4 総合計画の策定

5 国による地方行政改革の指針

- ・庁内会議の意見により、国が主語の表現から市の受け身の表現に修正

## II 行政改革推進項目

### 1 市民ニーズに的確に対応できる効率的な行政運営をめざして

- ・ 2、3と同様に「～のために」にするかどうか
- ・ 文章構成のため、「目指します」を「目指す必要があります」に変更
- ・ 市民との協働に関する記述を追加
- ・ (1)の「④ 市民による監視の推進」を「市民によるチェック機能の強化」に修正
- ・ (1)～(3)の項目を整理

### 2 簡素で効率的な組織編成のために

- ・ 前回、前々回会議の議論の状況を把握し修正
- ・ (1)「② 成果主義・能力主義に基づく人事考課、人事評価制度の確立」について、前回会議、庁内会議の意見により「成果主義」を削除
- ・ (2)「① 職員の意識改革・資質向上」を2つの項目に分ける

### 3 健全な財政運営のために

- ・ 公会計整備、資産・債務管理の部分で、重複する記述があり解りにくいという意見があったが、未修正
- ・ (1)「② 経費の節減」について、「経費」を「内部管理費等」に修正
- ・ 庁内会議の意見により、実施計画を説明する一文を削除
- ・ 用語解説は調整中

## 《主な意見》

### I 策定の背景

#### はじめに

- ・ 策定方針を「はじめに」に整理。語句を総合計画に合わせる

#### 1 地方分権の進展

- ・ 図について、作成の意図は  
←住民と行政の間に見えない線があるという意識があった。行政と住民が一体となって進めていくことを表現したいが、庁内会議では元々線があることがおかしいとの意見があった
- ・ 地方分権時代で左から右へ改めるということなので、むしろ線があった方が意図が明確になる
- ・ 上の文章を表す図として適切かどうか。補助金・行政サービス等の上下関係から地域・市民とのパートナーシップを表現したい
- ・ 左で過去を示すとすれば、線があった方が良い
- ・ 権限の流れか、サービスの流れか。サービスの流れならば、左図が国主導なのに対し、右図は市町村と住民が一番上にきても良い
- ・ 左図が断面図に対し、右図は三次元的なので解りづらい
- ・ 右図について、直接住民に接するのは地方自治体だけであり、国と県は市町村をバックアップするということが示せればよい
- 左の過去の図では市町村と住民の間に線を引き、地方分権によって対等な関係にするということを示す。左図は市町村優先、地域住民の自主決定を示す表現を検討する

## 2 少子高齢化などの社会変化

- ・少子高齢化によって、財政面では納税者が減り、行政サービスを受ける人が増えるという課題がある
- ・総合計画の想定人口について、国の推計人口との関係は  
←国の推計人口とほぼ同じ。上乘せした政策的人口ではない
- ・表－1では、18年と19年2つの数字が出ている。国では高齢化率が1年に0.5%上がっているのに対し、市ではかなり進行している。表はこれでよいか  
→ 了承
- ・図－1の将来人口について、H29年の数値は総合計画との関係か  
←総合計画のグラフを転載したもの。行革大綱の計画期間は26年度までであるので、26年の数値を出す必要があるかどうか
- ・人口は背景として記載するので、26年に合わせる必要はない  
→ 了承
- ・図－2の県内各市年齢3区分別人口割合について、県計、市部計、群部計の数値が必要かどうか。安中市の数値を前に出しているが、高齢化、少子化の順に並べる等、並べ方について意見を
- ・棒グラフは比較しにくいので、将来人口の表と同様に帯グラフにしては  
←棒グラフの利点として、3本の高さが個別に比較できる
- ・高齢化の高い順から並べることは  
←高齢化と少子化は必ずしも連動していないので、解りづらくなる可能性がある
- ・図は県の数字から事務局で図を作成
- ・市部計、郡部計を削除し、市名が斜めになっているので縦書きにする。高齢化率が高いと前文で記載しているので、高齢化順に並べてもよい
- ・合計100%なので、縦の帯グラフで数字データラベルを入れればよい。グラフで直感的に解るのも必要だが、微妙な数字の違いを表記すると、並べ替えにも対応でき、帯グラフにしても理解しやすい  
→帯グラフにし、数値を追加、市名を修正する
- ・表－1に国、県があるので、図－2は市の比較のみにする
- ・県計、市部計、郡部計は削る  
→ 了承

## 3 厳しい財政状況

- ・「市への歳入」という表現について、強調した方がよいので残す
- ・「当市の特色として～」は担当職員の説明を踏まえた行革審の意見から追加。財政調整基金から20億を取り崩し、新聞記事によると残り13億円ということで底をつきそうな状況
- ・「公債費」について、公債費比率と正確に記載する
- ・公債費の厳しい状況を示すのであれば、「公債費の状況は、その比率が～」等にしてもよい
- ・「12市中11位の水準」という表現について、「水準」では良いのか悪いのか解りづらい
- ・公債費比率について、厳しい状況を示すべき
- ・「特定企業の業績に左右され」以降に「安定した歳入が確保できていない」等の記述が必要
- ・安定的に税収が確保できない、市の法人税の脆弱性について記載を
- ・20年度予算が出るが、19年度の記載のままでよいか  
←答申して大綱が定まるのは3月末なので、その時には20年度予算は成立して

- いる。20年度の数値に改めるかどうか、財政課と協議、調整する
- ・厳しい財政状況を解りやすく、最新の数値で出してもらいたい
- ・財政調整基金から20億を繰り入れるという記載があるのならば、残がどのくらいということも入れた方が厳しい状況が解ると思う
- ←予算上の話であり、19年度決算においてはほとんど取り崩しが無いと見込まれる
- ・図-3の財政状況の見通しについて、新しい図では依存財源、自主財源、義務的経費などに項目がまとまり解りやすくなっている
- ・財政見通しについて、前回会議の説明では大幅に変わるということだったが、これから数字が変わることか
- ←議決後に大綱を策定するので20年度の数値について修正。21年度以降はそのまま
- ・現実的には、見通しどおりの予算が可能か。市税の歳入をもっと見込んでよいと思う
- ・決算額と予算額が混在しているので明記した方がよい
- ・図-4の財政指標の見通しについて、今までの議論との整合性を図るべき。財政用語について、解りやすい表現・表示に
- ←グラフが複雑なので整理して提示する

#### 4 総合計画の策定

- ・上位計画である総合計画を尊重・重視する

#### 5 国による地方行政改革の指針

- ・国が主語の文章から受け身に修正

## II 行政改革推進項目

### 1 市民ニーズに的確に対応できる効率的な行政運営をめざして

- ・「～をめざして」について、2、3と同様に「～のために」にするか
- ・1だけ題名が長い。「市民との協働による行政運営」と言い切るなど、シンプルでないと訴える力がない
- 2、3に合わせて簡潔にして、「～のために」に統一
- ・前文の末尾について、意見を参考に追加
- ・(1)④を庁内会議により「チェック機能の強化」に修正

### 2 簡素で効率的な組織編成のために

- ・「組織編成」より「組織整備」の方がよい。「編成」だとそれだけで終わってしまうが、「整備」だと継続するイメージがある
- 「整備」として積極的な意味を持たせる
- ・前文について、表現を整理、追加した
- ・文中の「内部組織の編成」も合わせて「整備」とすべきか
- ←法律の表現による。文中「組織編成に努める」は修正してもよい
- ・簡潔に「市民にとってわかりやすい組織にする必要があります」ではどうか
- ←参考に修正する
- ・トップマネジメント強化を記載した意図は
- ←会議の議論の中で、市長の方針を内部組織が整理し、意志決定をより良いものにしていくため協議・調整の場を活発化させるということが重要という意見があったため、表現を追加した
- ・トップマネジメントは強い表現なので、反発を招く可能性がある。柔らかい表

現があればよい

- ・トップマネジメント強化について、(1)～(4)に具体的な項目が無いのであまり意味を持たないのでは
- ・市長の思いつき、独断ではなく、行政経験を踏まえるためトップマネジメントは重要だと思う
- ・市長だけではなく、市の意志決定過程、政策調整の場も含まれる
- ・市長のトップマネジメント強化というより、トップマネジメントを効率的迅速に行えるような体制、組織編制、条件整備など簡素で効率的な組織整備という視点から表現を検討してほしい
- ・「職員は優秀である必要があり～」という表現について、「優秀」というより、能力を十分に発揮することが必要では  
→「的確に対応できる」など表現を検討する
- ・成果主義の削除については  
→ 了承
- ・人材育成の項目について、能力開発や研修体系の整備等、より具体的に記載してほしい

⇒ 次回会議で大綱のⅡの3以降、実施計画について協議する

## (2) 今後の予定について

説明：事務局

- ・実施計画について、各課へ担当項目の作成を依頼中 → 報告後、行革審へ提示

## (3) その他

- ・副題について、次回会議に案を提示

## 4 その他

- ・会議録署名

## 5 閉 会